泉高校 ICT 活用事例

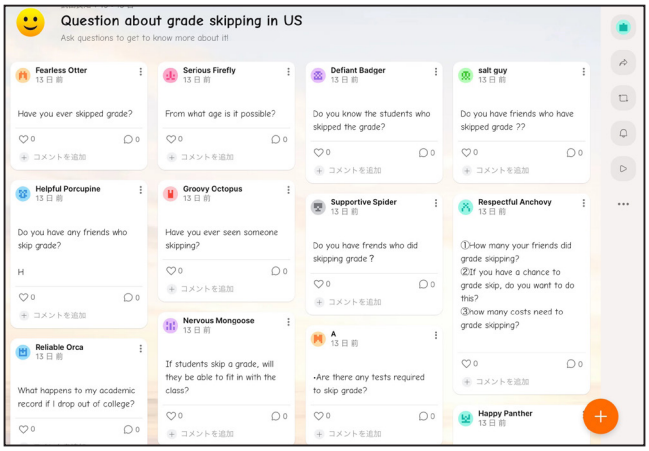
宮城県泉高等学校　情報・図書部
令和７年６月発行

泉高校の情報教育目標

情報機器の利用を通して、生徒が情報発信を行うときの情報モラルの醸成とプレゼンテーション能力の育成を図ります。GoogleWorkspace、Classi、マナビジョン、スタディサプリ、夢ナビライブ等を活用したオンラインによる協働的な学びを推進します。日経電子版 for Education を利用して新聞からも情報を収集し探究的な活動等にも生かします。

外国語（英語）の授業では…

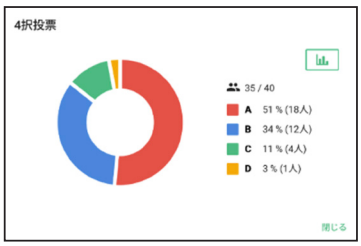
今年度は、WorldClassroom を導入しました。音読練習やパフォーマンステストの練習で活用しています。教科書の英文を入力し、課題配信をします。生徒が画面に示された英文を音読すると、AI が精度を測定してくれます。教師は、生徒の取り組み状況を見ることができるため、生徒が主体的に取り組んだ学習を評価にあてることができます。また、Padlet というアプリケーションを意見共有に活用しています。１人の ALT に複数人が質問したい場面で特に活躍しています。また、クラスメイトがどのような質問をしたのかや、どのように考えているのかを一画面で見ることができます。そのアイディアに対して、「いいね」やコメントをすることもできます。



芸術（音楽）の授業では…

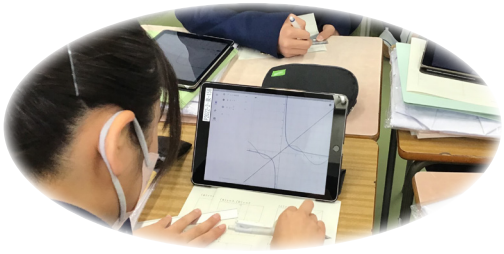
歌唱と器楽の分野では、自分の歌唱や演奏を録音・録画し、それを再生しながら、表したい表現の見通しをもったり、技能の習得過程を確認したりします。動画配信サイトを用いて様々な歌手の表現方法を比較し、自身の表現の工夫の参考にします。その際には、表したいイメージづくりは十分に行われているか留意しています。創作分野では、つくった音楽を再生して音で確認しながら、創作表現を創意工夫したり、グループで感想やアドバイスを伝え合いながら、つくった作品を修正したり、さらに工夫を重ねたりします。その際に試行錯誤の対象がＩＣＴの機能に向けられていないか、表したいイメージ造りは十分に行われているか、表現の工夫がＩＣＴの機能の範囲に留まっていないか留意します。安易に作成や削除ができてしまうため、自分や他者の作品を大切にする心情を育んでいるか留意し、作品に愛着を持ち大切にするように助言しながら取り組ませます。鑑賞分野では、作品の背景となる文化・歴史、他の芸術との関わりについて考える際に必要な情報をインターネットで検索し、作品に対する理解を深めます。同じ作品を異なる楽器や異なる演奏家による演奏で聞き比べ、音楽表現の共通性や固有性について考えながらよさや美しさを味わって聴く活動につなげます。音楽のよさや美しさについてプレゼンテーションソフトで発表を行います。プレゼンテーションソフトの使用やプレゼンテーションなどの機器を操作することが活動の目的にならないように、指導のねらいを明確にした上で適切に活用するよう留意しています。どの学習段階での活用が効果的か、活用場面を精選し、生徒の思考を活性化させたり、創意工夫を促進したりする場面で活用する工夫が必要であると考えます。

理科（物理）の授業では…



ClassiNOTE（R6 年度使用）を使うと、クイズ番組みたいに４択問題に自分の意見を投票してクラスメートのみんながどのように考えているのかを共有することができます。教師はその投票結果から生徒の行動や思考プロセスを観察し、授業での生徒の理解状況を把握し形成的評価を行います。そのフィードバックを元に指導方法や学習内容を調整して､生徒の学びを深めるための授業改善を図ります。さらに ClassiNOTE を用いることで、生徒はクラスメートのノートを互いに見合うこともでき、協働的に学習を進め、理解を深めることができます。

Google サイトを利用して、授業で配布した資料を iPad でも見ることが可能です。Google ドキュメントを共有し協働して考えを深めることもできます。実験動画はサイトに貼ってあるサムネイル写真を選んでクリックするだけで視聴可能なので内発的動機づけを大切にしながら授業を進めることが出来ます。



地理歴史（歴史総合）の授業では…

地理歴史の授業ではこんな活用

グループごとに Google ドライブを活用して、各自のカラー資料を共有しながら情報交換を行ったり、Google スライドを用いて共同編集を行うことで学習内容をまとめ発表したりする活動を行っています。授業の終わりには、Google スプレッドシートを用いてポートフォリオの作成を行い、毎時間の学習内容の記録を積み重ねていきます。また、各単元の終わりには Google フォームによる確認テストを行い、何度でも繰り返し重要語句の確認が出来るようにしています。さらに、授業動画の配信や学習済みの授業プリントを Google ドライブで共有することで、自習時や欠席生徒への対応もおこなっています。

日経電子版 for Education って？

「日経電子版 for Education」は、日本経済新聞が提供する学校向けのニュース配信サービスです。通常は有料の電子新聞ですが、このサービスを使えば生徒がタブレットやパソコンで、日経新聞の記事を無料で読むことができます（学校で契約済）。宮城県では泉高、仙台二高、仙台二華中高の３校で導入されています（令和７年現在）。

政治・経済・科学・国際情勢・環境問題など、社会で起きている“本物のニュース”に日々ふれることができるのが大きな魅力です。このサービスは、探究学習とも深く関わっています。たとえば「エネルギーの未来」「AI と仕事」「日本の食料問題」など、自分でテーマを見つけて調べるときに、信頼できる情報源として日経電子版の記事を使うことで、考察の深さがぐんと高まります。

ニュースの中には、身近な地域や学校、若者に関わる話題もたくさんあります。日々の学びと社会をつなげる強力なツールとして、「日経電子版 for Education」はこれからの時代の学びにぴったりです。